

## 第107号

## し ら さ ぎ

## 名誉ある御下賜金を拝受して

社会福祉法人丹後大宮福祉社会理事長 石河 良一郎

穏やかな春の訪れを迎えようとしていましたが、新型コロナウイルスが世界的な規模で感染拡大を続けており、その影響が政治・経済・社会問題として大きく深い混乱に拍車をかけています。全く先の見通せない状況ですが、唯々一日でも早い終息を願うばかりです。

さて、二月の始め、京都府よりあゆみが丘学園が天皇陛下から御下賜金の拝受の決定通知がありました。突然のことで、当初、何のことかその意味を明確に理解しておらず、生半可な御礼の言葉を返した覚えがあります。

この御下賜金については、天皇陛下から、二月二十三日の天皇誕生日に際し、社会福祉事業の御奨励のため、優良な民間社会福祉事業に係る全国の施設・団体に対し、金員を下賜（かし）されるもので、厚生労働省を経由して、各都道府県から伝達がされることになっております。

二月二十日の伝達式では京都府丹後広域振興局 中野孝男局長から、「社会福祉法人丹後大宮福祉会が設置運営されます障害者支援施設あゆみが丘学園様におかれまして



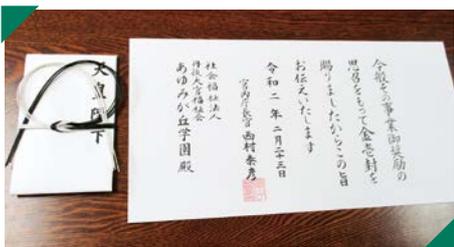
は、昭和六十年の開設以来、京丹後市唯一の障害者支援施設として、地域の関係機関との連携のもと、入所者ニーズに応じたきめ細かなサービス提供を行なっておられます。また、入所者の重度化、高齢化に対応するための高齢者棟の増設や、施設改修にも積極的に取り組むなど、永年にわたり地域の障害者福祉の拠点施設として、障害者の自立支援に多大な貢献をなされてきたことが評価され、この度、御下賜金を下賜されることとなりました。」と口上がありました。

拝受しました後、私から「あゆみが丘学園が開設されてから三十五年が経過しました。この間、ご利用者様、ご家族、地域、関係者の皆様のご支援・ご理解を頂きながら障害者福祉事業に取り組んで参りました。これからもこの榮譽を励みと

し糧として、またこの榮譽を汚さぬよう、あゆみが丘学園職員一同地域に根差した施設として、障害者福祉のためにより一層精進して参ります。」と謝辞を申し述べました。

この御下賜金を拝受しましたことは、あゆみが丘学園の施設運営が高く評価されたことであり、非常に名誉なことだと感じていますし、施設整備の充実と職員の皆さんの毎日の業務の積み重ねが、他の施設の模範となる優良施設であることとして認められた結果だと思っております。

この榮譽に恥じないよう、利用者様をはじめ、地域の社会福祉により一層貢献できますよう精進して参りますので、関係各位におかれましては、今後もしもご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



# 今年の節分祭は盛りだくさん

支援部部长 谷口 宗浩

平成から令和にかわり初の節分祭を迎えました。昨年は、インフルエンザの流行によりかなり縮小した節分祭となりましたが、まだ新型コロナウイルスの影響が及ばなかった二月五日に開催されました。午前の部は、京丹後市大宮町にある弁慶寿司さんの出張企画がブナの木寮で行われ、本館では準備してもらったにぎりずしセットを会食するという形式をとりました。ブナの木寮では、十時過ぎには食堂兼テイルームに仮設屋台が組まれ、何かが始まるぞという利用者さんの熱い視線が感じられました。弁慶寿司さんの手際の良い準備で、握りたて実演開始。まずはゲタにのせたにぎり寿司を利用者さんのもとへ、ここで一気にボルテージが上がります!!



「いただきます!!」といきたいところが、中には刻んだものを提供しなくてはならない方もおられ海鮮丼が並び、もう一方ではムース食のにぎりの方もおられ、やっとなげつて会食スタート。反応は様々でしたが、新鮮このうえないネタを食べると、喜色満面の笑顔ばかりが印象的で、ほとんどの方があつという間に食べてしまい、普段なら食事が終わるまで二時間かかると言われる方も目を疑うほどの速さでした。ご相伴にあずかった職員も仕事だということをお忘れなく、い堪能させていただきました。さらにプログラムは続き、プリの解体ショーで職人さんの包丁さばきに歓声があがり、そのネタが目の前で握られ、すぐに味わうという幸せな瞬間があり、満足度は急上昇。ただし利用者さんの健康面を考えると少な目に提供しなくてはいけない方があり、その方々のテンションが下がりがち。提供の仕方に工夫が足りなかったかなと後悔しつつも、弁慶寿司さんの進行で更にプログラムは進み、職員が参加し、名前あてゲームと、ワザビ大盛り誰に当たるか)ロシアンルー



レットで笑いや歓声のなか楽しい雰囲気でも締めくくることができました。何よりも儲けがあるのかなと心配するくらい極上ネタで皆を満足させてくれた弁慶寿司さんに感謝。午後の部は、恒例の豆まきです。毎年利用者さんと職員のみならず選抜された精鋭達が鬼に扮して施設の中をくまなく回り、遠慮なく豆をなげつけてくる利用者さんの攻撃にめげずに奮闘し、ひたすら福を呼び込む役どころ、ご苦労様でした。季節を感じられる行事で利用者さんの笑顔が見られたこと、それだけでホッとできた日でした。



# 食堂のテーブルが新しくなりました!

支援部副部长 北野 祥市

利用者の皆さんの楽しみは、なんといっても食事です。学園は温冷庫の使用によって、毎食、温かい食事(時には、しっかりと冷えた副食)を提供しています。厨房提供のプロの味と、この文明器により、食事は自慢しますがとても美味しいです。

ただ、テーブルに関しては身長の違い、高い方、車椅子使用の方がおられる中、同じテーブルで食事を摂るには、工夫の必要性があると、高さ調整の出来るテーブルを学園職員と業



# コロナウイルスに振り回されて

支援員 井上 俊文

者で、試行錯誤し、考え、作成し、購入いたしました。一人一人が、その人の高さ姿勢に合わせたテーブルで食事が摂れるようになり、楽しみと共に安心、安全が加わりました。テーブルの購入にあたっては、後援会より多大な寄付を頂き、感謝の気持ちで一杯です。有難うございました。

中国の一部の事件だと対岸の火事を決め込んでいた世界の人々は、今改めてどうか、初めてのウイルスの試練に直面しています。当園も世間と同様に、外部との接触は禁止、親御さんとの面会も禁止、外出も禁止という状況です。職員も園に菌を持ち込まない為に、出勤時には手洗い、うがい、検温、マスク着用をしています。そうそうマスクが世界から消えましたね。幸い園では備蓄分と外部の方の支援もあり何とかしのいでいます。

人類の敵は、世界各国で起こっている内乱や紛争などではなく、マスクも通過するような目に見えないウイルスだと改めて痛感しています。今後も同様なことが世界中で発生しない保障はありません。

当園の利用者さんは、様々な疾患や年齢的なものもあり、体力、免疫力などは決して高いとは言えません。だから毎年インフルエンザの季節になると、我々職員は園内に菌を持ち込まないように精一杯の努力をしています。一人でも感染すれば、連鎖的に感染は広まってしまいます。

コロナウイルスの蔓延の中、関東の当園と同じ形態の施設にウイルスがオーバーシュートを起こし、半数以上の罹患者が出たと報道され、その施設ではどういった対応をされていたのか、今後の参考にしたいと記事を追いますが、その後の報道はなされません。利用者の方はほとんどの方がマスクの着用を嫌がりません。居室から出ないで下さい。の指示も、中々理解してもらえません。改めて彼ら彼女らは自分で自分の身を守るすべを持たないという点においては、本当に弱者なんだと痛感しています。

コロナの恐怖が去り、世界に笑顔が戻り、人類がまた一歩困難を克服し前進できることを願って.....



# 厨房をのぞいてみよう3

管理栄養士 今西 美妃



やわらかな春風に心華やぐ季節を迎えました。暖かい日差しが顔をのぞかせる頃、学園の厨房の調理台にも春を呼ぶようにほんのりピンクに色付けされたレンコンが並んでいます。その横には蒲鉾で成形された冠桃の缶詰が花びらを舞うように花畑を作っています。利用者さんの大好きな酢飯には、切り抜きされた様々な形の海苔がはられていきます。にこやかに笑う男の子の顔、ちよつと唇をのぞいた恥ずかしそうな女の子の顔が作り上がりました。そうです!今日はひな祭りの日。



厨房の職員が一致団結して、お皿にはたくさんのお食材達がひな祭りを祝つように華やかに変身していきます。また別の調理台では、同じ食材達が少し形を変えて並んでいます。食べると、同じ味付けでも歯茎でつぶせる程の柔らかさ。食事を楽



がらもお手伝いできたらなあと思っています。

2020年度ホーム担当

<b>かえでホーム</b> (5名) ○永岡宏文・稲鍵直人 坂根宏志・片岡倫子 小幡江里	<b>もみじホーム</b> (5名) ○藤村秀平・井戸本博 大島光成・濱田庄司 坂根有美子	<b>わかたけホーム</b> (4名) ○井上俊文・安田勇輝 今西省三・中西ひとみ	<b>まつのきホーム</b> (4名) ○中西盛人・荒田有輝 井田孝茂・上田澄代	<b>すみれホーム</b> (6名) ○安里仁美・井戸本佳奈 増田由巳子・中村小雪 笠次姫羅・伊達めぐみ	<b>たんぽぽホーム</b> (7名) ○西村美穂・吉田あかね 森野味恵子・野木美春 齋藤幸子・今田千鶴子 末富元子	<b>しらかばホーム</b> (7名) ○上羽行直・牧野武範 田中慎吾・佐野勉 藤田泰弘・横谷慶子 仙頭由起子	<b>コスモスホーム</b> (6名) ○田中静・岡田文江 中村朋子・辻田彩加 小西安子・藤村文美
--	---	--	---	--	---	--	---

※○はリーダー

お知らせ

【採用】  
 ◎支援員 笠次姫羅  
 令和二年四月一日付け  
 ◎支援員 藤本一希  
 令和二年四月一日付け  
 【退職】  
 ◎支援員 永岡直子  
 令和二年一月三十一日付け  
 ◎支援員 奥田大介  
 令和二年一月三十一日付け



新人職員紹介



支援員  
藤本 一希

職員の方との連携を欠かさず取り、利用者の方に安心して過ごして貰えるように頑張っていきたいです。



支援員  
笠次 姫羅

障害者福祉の知識を取り入れ、利用者様に安全で楽しい生活が送れるような支援を実践していきたいです。

リサイクル作業

(アルミ缶・銅線・古紙回収)  
 へ協力いただいた方



二〇一九年十二月十六日  
 二〇二〇年三月十日

(敬称略)

安達酒店、安達電気、網野たばこ、新井孝弘、五十嵐屋商店、生野電気、糸井石材、稲岡嘉郎、稲岡晴子、梅田歯科医院、エナジールランド大宮、えびす電気工事店、大宮北保育園、大宮第一小学校、大宮第一小学校PTA家庭教育委員会、岡島三協製作所、オギノ電機、小笹フサコ、大西勲、掛津区観光部、金子産業(株)、京都都都信用金庫、京都日産自動車(株)、小池食料品店、河野哲郎、後藤鉄工所、小西デンキ、コマキデンキ、笹岡昭義、笹岡儀和、職業訓練センター、末次電気商会、隅倉住建、(株)大建、魚屋、玉岡商店、玉木明司、田村ますみ、大同宏子、でんき館やました、中西でんき、西田建設、野池、畑中酒店、日達利雄、フリーク、藤村順一、堀敏雄、堀博昭、堀保彦、堀鉄工所、ホリロク(株)、マジカル、まるぜん書店野田川店、丸中観光バス(株)、まるみ食堂、丸龍、水口組、水口進、椋平、宮尾倍行、矢野辰雄、矢野博、山本団地、ヤマモト電化サービス、由利徳七、よざ電工(株)、吉村食料品店、(株)吉岡設備、(株)(株)ルコモコ、ワタマサ、BGRセンター、明田・遊・五十河・芋野・口大野・口大野自治会・周積・尉ヶ畑・三重・森本・吉沢地区の皆さん、保護者の皆さん

事務だより

二〇一九年十二月十六日  
 二〇二〇年三月十五日  
 (敬称略)

【寄贈】

たかた、(株)ルコモコ、妙性寺(五十河)、和泉登喜雄(久美浜町)

【寄付】

医療法人社団 山吹会、金子実

編集後記

暖冬の影響で雪も殆ど降ることもなく、桜もぼつぼつと咲き始める春の便りが届き始めている季節です。  
 新年度が始まりました。爽やかな気候の中、気持ちを入れ替えて心機一転頑張ろうと思う春の二日です。

さて、世界的規模で新型コロナウイルスが蔓延しています。遠出や人込みを避ける事は勿論の事、手洗いうがいを用意することが予防の為に大切になってきます。学園でも予防に関して徹底しており利用者の皆様には外出の制限をさせて頂いています。利用者の健康及び安全の保持の為に理解していただきたく思います。

四月からはフレッシュな新人職員も入り、ホーム担当も変わり新たなスタートを切りました。これからも利用者の皆様により良い支援が出来る様に尽力していきたいと思っております。